

雷の子

カトリック町田教会
町田市中町3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



神がイエス・キリストによって
(.....)平和を告げ知らせ、イス
ラエルの子らに送ってくださった御
言葉を、あなた方はご存じでしょう
使徒言行録 10.36

植物に気づかされたこと

主任司祭 小池 亮太

私は植物を育てるのが好き
なのですが、町田教会にやっ
て来てまだ時間も経っていな
いことや、育てる環境が整っ
ていないこと、必要な買い物
ができる場所を知らないこと
などで、まだ本格的には始め
ていません。
思い返してみると、小学生
の時には朝顔の観察をしまし
たし(今もしているのではし
ょうか?)、中学生の時には学校

発見があり、いろいろなこと
に気づかされます。
例えば、草花の世話をして
いると、植物は動物と違って
「完全に受け身で生きてい
る」ことに気がつきます。人
に飼われている動物は、お腹
が空けば鳴いたり、擦り寄っ
たりして飼い主に訴えること
ができます。また、寒ければ
暖かい所に、暑ければ涼しい
所に移動して、自分で不快な
状態を快い状態に変えること
ができます。一方、植物はと
いえば、育てている人が水を
与えなければ、何も言わず黙
って枯れていくだけです。ま
た、地面に植えられた植物は、
暑くても、寒くても、根付い
た所から動くことはできませ
ん。だからこそ、植物を愛す
る人は、自分の傍らにある草
花から決して目を離すことが
できません。それは、その植
物が枯れるのも、よく育って
花を咲かせるのも、実を結ぶ
のも、すべて自分にかかって
いることを知っているからで
す。.....私は先日、黙想で留
守にした時に幾つかの植物を
枯らしてしまいましたが.....
この 植物と世話する人と
の関係は、人と神との関係
にも似ているように思えます。
私たちは生きていくと、様々
な困難やどうしようもない悲
しみと遭遇します。その時に

は必死になってそのような状
況を変えよう、抜け出そうと
もがきます。けれど、多くの
場合、どうにもなりません。
その時、私たちは「神は決し
て信頼する人を見捨てること
がない」と信じ、神に向かっ
て祈ることになります。しか
し、人が祈る前から神はすべ
てを知っていて、必要なもの
を与えてくださいます。人間
が弱く限界あるものであるこ
とを知っている神は、一人ひ
とりから目を離すことなど
できないからです。
今、植物の多くは猛烈な暑
さにじっと耐えています。し

特別寄稿

仙台教区に派遣されて

元町田教会司祭 浦野 雄二

5月より仙台教区に派遣さ
れていきます。仙台教区の事務
局長の小松神父が同級生とい
うこともあり、作戦コード名
「友だち」がスタートしたわ
けです。
こんな所に住んでいます
仙台での住まいは、カテド
ラル元寺小路教会です。日本
で一番、便利な場所にあるカ
テドラルかもしれません。な
んといっても、仙台駅から徒
歩10分もかからないという至
近距離です。そんなわけで仙
台での生活拠点は、市内の一
等地です。仙台に派遣されて
いながら、生活拠点からは大
震災の傷跡を感じることはで
きません。そんな仙台駅から
車で20分も走れば、大津波の
傷跡が存在しているにもかか
わらず、日常と非日常が隣り
合わせになっているところに、
今回の震災の特徴があります。
道路一本をはさんで津波の被
害の明暗が分かれる現実は、
なんとも表現しえないもので
す。

被災者の思いと無関係に進む復興

あまりにも広範な被災に加え、原発事故の先行きの見えない状況に、ただただ圧倒されていくというのが実情です。たしかに大震災から数ヶ月が過ぎ、目に見える部分の復旧も進んでいる部分もありますが、逆に悲惨な状況の中で復旧の遅れている部分とのギャップが顕著になり、自治体は平常業務に戻るために、被災者の思いや感情と無関係に避難所の統合、整理、仮設住宅の建設を進めています。

今回の大震災のインパクトの強さによって、多くの人が何かをしたいと思っています。しかし16年前の阪神大震災との大きな違いは、原発問題を別にしても、被災地があまりにも広範囲に広がっていること、阪神大震災は近くに大阪や京都という大都市があり、ボランティアも集まりやすい環境にあったこと、大阪教区と仙台教区の規模の相違などがあります(事務局長の小松神父は休みもなく、何もかも一人で背負っています)。善意の人々ができることは限られ、国や県などの継続した支援が頼みなのです。

広がる支援の可能性

6月の司教総会で、日本の

教会としての仙台教区復興支援が動き出しました。私その他に全国から5名の司祭の派遣が具体化しつつあります。また北は青森から、南は福島までの被災地を区分けして、長崎教会管区、大阪教会管区、東京教会管区がサポートしようという動きが始まりつつあります。カリタスジャパンを出発点とした支援に、日本の教会も加わったものにしていう取り組みです。

忘れないこと、伝えること

小松神父が日ごろ、話していることを最後にお伝えします。善意の私たちが第一にしなければならぬのは、「忘れないこと」と「忘れないことを伝えること」です。そのためどんな形でもいいから現地を訪れることです。旅の途中でもいいのです。仕事のついででもいいのです。私が仙台にいた間に、訪れてもいいのです(観光客の行かない、昔ながらの牛タン屋さんにお連れ可能ですが)。そしてキリスト者としてもっといいのは、被災地の教会の主日のミサに参加し、そこにいる人たちの声を聞くことです。善意の押し付けでなく、被災者の思いをそっと受け止める、そんなことが最も必要なことです。

1982年設立 THE CIRCLE OF FRIENDS (PESCOF) フィリピン教育里親運動

家が貧しいために学校に行けない
フィリピンの子どもたちに経済的な
援助を行っている活動をルポ(池永)

セブ島で村おこしをしている
マイケル・ヒマリ神父(フィリピン)

交流を保ちながら
創立29年目の会

PHILIPPINE

CEBU

貧富の差が大きい!
セブの大多数がギリギリの生活

少しずつでもしあわせを持ち寄ることで
SLOW BUT SURE
世の中が明るく!

〒655-0048
神戸市垂水区西舞子2丁目1-73
ザ・サークル・オブ・フレンズ
教育里親係
TEL&FAX 078-786-1468

9月 PESCOFランチ
政府・市町が賞賛
肩代わり1年終了!

12,000円を送金すると一人の子どもが一年間学校に通えます

代表の 荻島 崇さん

神戸から転入された
宮内夫妻の紹介で
1990年に活動!

神の摂理に
適ったよりよい社会
平和な世界の実現!

1日働いても100ペソ

野菜、玉子、果物、花、タバコ

ハッピー

平和

成長

夢

自立!

意欲!

教育

学校

教育を受けたいと積極的!
親の理解

地球を救う

教育の貧困!

世界全体の教育水準向上

巨大企業が先進国の利害

+フィリピン各地や外国で働いている卒業生たちは大震災や津波で被災された方々の無事と安全を神様に祈っています。

平成23年度 カトリック町田教会 実行体制 (I)

教会業務担当 (運営委員：皇 恭子・元 信子・勝又 敏之)

担当	担当業務	業務内容	連絡責任者	構成メンバー
教会業務	庶務	ミサ案内 その他	田澤 三郎	山口 広文・新納 春雄・立木 欣吾・赤瀬 亮一 大木 雅信・幾永 弘・瀧口 裕行・定光 善吾 安藤 康弘・荻津 兆秀・奥村 耕平・橋村 元雄 伊藤 時光・神谷 富雄・小溝 茂雄
	受付	土曜日受付	山口 静子	木村 洋子・坂井 美鈴・鹿内 容子・高尾 敬子 林 佳香
		日曜日受付 転出転入		越後 やしを・定光 孝子・田村 ゆり子・林 佳香 舟ヶ崎 美英子・藤野 照江・山口 静子・横山 真弓
名簿	教会原簿・管財	橋村 元雄 (小池神父)	山田 恒雄 (ソフト開発)	
広報	教会報	雷の子編集	中原 毅志	神谷 富雄・遠山 修・堤 貞夫・遠山 悦子 池永 廣美・隠地 妙
		PC ホームページ	小池神父	丸井 千尋・国友 成 (制作)
		週報	高尾 敬子	坂井 美鈴・原 久子・林 佳香 丸井 千尋・笠原 恵
	図書	図書の選択 購入・管理・貸出	横塚 千枝子	丹 雅子・宇治 淳子・横山 浩美・井上 淑子 高橋 檀・石井 節子・酒谷 和子・三上 昌子
売店	聖品販売	守田 紀美江	小池 裕子・舟ヶ崎 美英子・川本 芳實 橋本 愛子・小林 洋子・秦 ゆう子・池永 廣美	

各種対外活動担当 (運営委員：神谷富雄・橋村元雄・立木欣吾)

担当	業務	業務内容	責任者	担当メンバー
渉外	教区関係	教区一粒会運営委員会	立木 欣吾	多摩南宣教協力体より選出
		教区宣教司牧評議会		
	宣教協力体 関係	多摩南宣教協力体会議 企画小委員会	立木 欣吾	神谷 富雄・橋村 元雄
その他	立正佼成会関係			
	その他			

平成23年度 カトリック町田教会 実行体制(Ⅱ)

典礼委員会担当

(典礼委員長 兼 運営委員：伊藤 宏)

係	担当メンバー
聖歌隊	鈴木 恭江
朗読手配	井上 芳子・真中 祐一
典礼の花	丹 雅子
冠婚葬祭	上綱 敦子
香部屋	牧野 千佳子
ミサ進行係	伊藤 宏・小林 彰・山口 良樹
聖体奉仕者	島田 和人

運営委員財務委員会担当

(財務委員長 兼 運営委員：坂井 剛)

係	業務内容	連絡担当
財源の確保	健全財政の確保	坂井 剛
収入管理	郵便振込 銀行振込 現金	小池神父 佐藤 玲子
支出管理	現金出納(支払) 郵便振込 銀行振込	田澤 三郎 神藤 由紀夫 坂井 剛
資産管理	資産台帳管理等	神藤 由紀夫
データ管理	会計・決算データ管理	奥村 耕平 坂井 剛

施設管理委員会担当

(施設管理委員長 兼 運営委員：松村 潔)

係	業務内容	責任者	委員
施設管理	中長期大規模改修及び修繕 小規模修繕・定期修繕 教会建設～建設後の教会施設の 維持管理及びメンテナンス	松村 潔	大木 雅信・荻津 兆秀・鈴野 将 田澤 三郎・幾永 弘・小池神父

生涯養成委員会担当

(生涯養成委員長 兼 運営委員：赤瀬 亮一)

係	業務内容	責任者	委員
生涯養成	信徒の育成・信仰の理解 靈性を養う	赤瀬 亮一	池田 克久・妹尾 定佳・寺澤 圭子 橋本 昭男・林 佳香・前島 千佳子 丸井 千尋・水野 貴久子・三谷 涼子 松村 勢津子
教会学校	土曜学校	吉田 光子	保護者をはじめとする皆さんで構成
	日曜学校	三須 真理 坪山 明美	
	中高生会	島田 和人	本宮 智愛
たまごの会	未就学のお話会	小林 由里子	青木 重子・佐藤 千代子・佐藤 玲子 皇 恭子

教会と私

運営委員 鈴木 節子



心境の変化から、また教会へ行こうと思った。いつも私はその繰り返し。先日、教会からの帰り道での会話「神様に呼ばれていると思うから行動する」、「離れていると呼ばれるのよ、やっぱり？」思い当たる節が確かにあった。だから時々教会に行かなきゃと思ったのか、と素直に納得できた。

振り返れば、幼児洗礼を授かり、幼、小とカトリック学校で育ち、教会で結婚し、3人の子供達にも幼児洗礼を授けていただいた。両親が亡き今は、信仰心をいただいたことにただ感謝するばかりである。町田教会には30年程前から在籍している。

日々の生活を切り離し、聖堂に入る。静寂の中に身をおくことがこの頃とても新鮮に感じられるし、声を合わせて祈ることも大切に思えるようになった。いまさら何を言っているの！と母に叱られそ

うである。それでも、叱ってもらえない寂しさを埋めるために教会に行く。

教会では、いろいろな所でいろいろの方が活動されている。きつとみなそれぞれ思いを抱えながら取り組まれているのだろう。その姿を見るにつけ、尊敬し、羨望し、自分には到底無理であろうと考える。私にできることは……

と思いつくすが何も無いのである。だからそれを探してみようと思っていた矢先に、運営委員のお声をかけて頂いた。

ひとつのことを続けるのは、末っ子でO型の私にはなかなか難しいし、委員を2年間も務められるか心配である。

皆様が家族だと思っておりますので、たくさんの方達よ、母達よ、どうか私を叱って下さい。そして、兄弟姉妹達と共に微笑みながら歩んで努力していきたいと思う。よろしくお願ひいたします。

何故なら、それは受け手こそその教会に呼ばれたと神様が思われているからだと思つし、そしてあわよくば弱い私を今度こそ離さないでほしいと願っている。

ヨゼフ会黙想会に参加して

神谷 富雄

五月二十八日(土)の午後から翌二十九日(日)一泊二日の黙想会に参加した。高木賢一神父の指導のもと、「汚れなきマリア修道会」で行なわれた。主題は、主日の福音をもとに「(副題)「マルコ福音書の奇跡物語から」と題する講話で始められた。

イエスの教えには言葉によるものも行いによるものがあり、その各々が福音であり、宣教である。その行いによる福音が所謂「奇跡」であって、イエスの言葉である「説教」

初聖体

おめでとう！ 六月二十六日



歓迎会で挨拶をする 小池神父



ワンポイント聖書

十戒・その三

あなたは、あなたの神、主の名を虚しく唱えてはならない。その名を虚しく唱える者を、主は罰せずにはおかない。

申命記5章11

第一戒では神が、エジプトの奴隷状態からの解放者が自分であったことをユダヤの民に示される。

続いて第二戒では自分のほかに、いかなる神もあつてはならない。いかなる像も、いかなるものの形も造つてはならない。それに仕えたりしてはならないという。

さてこの第三戒では、主の名を虚しく唱えてはならないと語る。唱える者を、罰せずにはおかないとまで言う。その真意はど

(182)

前島 誠

の辺にあるのだろうか。

それを尋ねるには、申命記12章を丹念に読まれることをお勧めしたい。その内容がいつまでも並べておく。

(1) 偶像礼拝の場所はすべて破壊する。神々の像を倒し、彼らの名を消し去る。

(2) 主がみ名を置く場所を整え、献げ物を供え、主の御前で家族と共に食べる。

(3) ヨルダン川を渡り、安らかに住むようになったならば、主がその名を置くため選ばれる場所で喜びを祝え。

動物の肉は食べることが可。ただし、その血は食べてはならない。水のように、地面に注ぎ出さねばならない。

以上がカナン定着前の状況であった。

と行為である「奇跡」とは一体のものという理解である。

神父はマルコ福音書から幾つかの「奇跡」の例をあげて説明された。当時、民は貧しい人、病む人、抑圧の中で苦しむ弱い人々であった。イエスが中風の人を治したのも、重い皮膚病の人を癒したのも主に立ち帰るならばその人は本来の姿に、自分の家に、元の共同体に戻る事ができると言葉で説き、そして実際に癒しの業を行なった。イエスは彼らと苦楽を共にし、救いの業に励まれたのである。

また、神父はその日の福音の中から特に「父は別の弁護者を遣わして永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる」についても触れられた。弁護者とは聖霊のこと、ギリシヤ語パラクレイトスの直訳で「傍らに呼ばれた者」即ち同伴者、わたしはいつもあなたと共にいる」というメッセージを最後の晩餐のときに残される弟子たちに語ったイエスの言葉である。

高木神父はこの四月東京本部に移られたが、残される我々に一語一語熱く語られた。

夕食後の神父を囲んでの懇談も楽しいひと時であった。

また雨の音、聖堂の静寂の中で黙想のときをもったことも心に残った。

二日目は朝の祈りと主日のミサに与かり、シャローム（主の平和）のうちに散会した。修道院の方々の行き届いたご協力に感謝してやまない。

終戦記念日に寄せて

暗い記憶

(2)

阿部 一美

先日、恩人の追悼で故郷大船に戻る機会があり、少年時代の薄れかかったセピア色の記憶がよみがえってきました。昭和16年12月8日大東亜戦争はつ発。その頃、私の家は鎌倉郡大船町で、母が美容院を経営、父は会社員、私は小学2年生、薄幸の赤子を養女としての幸せな家庭でした。

戦争が激しくなると、空襲警報が鳴り響き、B29爆撃機が黒く大きい不気味な姿で空を飛び、横浜・横須賀も爆撃を受けて炎上し、荒削りの大船観音もB29の進入目標になるとの考えで、あわや取り壊しという話もありました。母の美容院も、パーマ器具の電気コードを切断し、巡査の検査を受け、練炭の直火式に改良しての営業でした。

戦況も押し詰まった頃（私達にはまったく不明でしたが）、昭和19年父が病床につき、続いて母も肺結核で倒れ、翌20年3月父死亡（42歳）。食料品の欠乏は極に達し、母の

縁を頼って物々交換のために農家を回り歩きました。「こんなもの何の役にも立たないけど」と言われながら、幾ばくかの野菜等をもらって帰ってきたものです。

その頃、私は国民学校にも行かず、家で掃除、洗濯、炊事の毎日。少年の私はそれが嫌で、病床の母に不平をぶつけ、とても済まないことをしてしまいました。苦勞人で努力の人であった母は、実は私生児で、親に放棄され、親戚をまわされて育ったのです。昭和20年8月15日終戦。終戦後も苦しい日々が続きました。預金封鎖、新円切替え等々……。でも駅前の闇市では甘い物でも何でも売られていました。年齢を偽り、駐留軍の日雇い人夫として、横浜の焼け野原の片付け作業をしてありついた日当が百円！

昭和21年5月母死亡（39歳）。母は死後のことも頼み、私のために死を急いだのです。親と死別して、妹と2人きりの生活が始まりました。ある日、母のスーツを持ち出し、幼稚園の先生に、「これ買って」と頼んだことから事情が発覚し、後日、伯父が来て妹は復縁。私は鎌倉へ移りましたが、そこでは隣人から幾多の愛を受け、カトリックへの道も用意されていたのです。

縁を頼って物々交換のために農家を回り歩きました。「こんなもの何の役にも立たないけど」と言われながら、幾ばくかの野菜等をもらって帰ってきたものです。

信者動静

2011年5月～7月

(個人情報のため、削除しています)

犠牲献金
中高生会

- 6月5日 20,183円 (仙台教区へ)
- 7月3日 19,604円 (仙台教区へ)

「雷の子」次号編集会議予定
8月28日(日)09時30分
於会議室
286号の「信者動静」
に誤表記がありました。お詫びして次のとおり訂正いたします。